

問 福田地区の国道202号は、主要地方道長崎南環状線の完成に伴い、交通量の増加が予想される。そこで、現道の安全対策の推進とともに、(仮称)福田バイパスについても、県の整備計画路線として格上げされるよう取り組んでほしいと考えるが見解を伺いたい。

答 本市としては、(仮称)福田バイパスを重要な路線の一つとして捉えている。バイパスの実現に向け、地域の皆様の協力を得ながら、具体的な調査の実施などについて県や関係先に対し、引き続き働きかけを行っていきたい。

自由民主党

三和宮崎地区ほ場整備事業について

問 地域の農業振興を図るため、三和宮崎地区において、未活用市有地において農地造成を行い、新規就農者等に農地の貸付けを行っているが、現在の進捗状況や今後のスケジュールについて伺いたい。

答 現在の進捗状況は、造成面積が約5万7千㎡、区画数が20区画で平成21年度末に造成工事を完了し、農業用

水の送水管工事に着手する予定である。平成22年度中には入植希望者の募集・選考を経てほ場への一部入植ができるよう事業推進を図っていききたい。

市庁舎建設への取り組みについて

問 市庁舎については、老朽化が進み、本腰を据えて検討する時期にきていると考えるが、今後の市庁舎などの更新計画にあたって、具体的にどのように取り組んでいくのか。

答 市庁舎は、建築後50余年余りが経過しており、平成21年度の耐震診断は、あまりよい結果ではなかった。市庁舎は行政の中枢であり、まちづくりの拠点であることから、平成22年度から庁内で検討会議を立ち上げ、市庁舎の更新計画について着手していきたい。



市庁舎

県との政策の共有と連携強化によるまちづくりの推進について

問 長崎県と連携して進めるべき施策のうち、時間的に急がなければなら

ないものや、田上市政として片づけておかなければならないものなどが数多くあると考える。今後、どのような施策をどのように調整しようと考えているのか。

答 新幹線の諫早～長崎間の早期実現、世界遺産登録、市中央部・臨海地域の都市再生の取り組みなど県と急いで協議すべき課題は様々であると認識している。県、市の関係部局間で緊密な協議調整を行い、知事との新たな協議の場においても直接話していきたい。

公明党

被爆65周年の本市の取り組みについて

問 被爆65周年という節目の年を迎えるにあたり、原爆資料館の収蔵資料のインターネット公開や長崎原爆戦災誌総説編改訂版の英語化などの取り組み状況について伺いたい。



長崎原爆戦災誌

答 被爆の実相を全世界に向けて情報発信するため、平成22～26年度にかけて収蔵資料のインターネット公開を開始する。戦災誌の英訳については、平成22年度中の完成を予定しており、完成後はインターネット上での閲覧を通じて世界へ発信することとしている。

就労支援について

問 若者を取り巻く雇用環境が厳しい中、長崎における今春卒業予定の高校生、大学生がどのような状況に置かれているのか。また、この緊急時にどのような対策を講じているのか支援体制について伺いたい。

答 今春卒業予定の高校生、大学生の就職内定率は昨年を下回り厳しい状況である。本市では、緊急の合同企業面談会を実施した。平成22年度から中小企業振興室を新設し、個別企業の雇用ニーズの情報を適宜交換するなどきめ細やかな支援に努めたい。

日本共産党

住宅リフォーム助成制度について

問 経済対策として、耐震診断・耐震改修及び高齢者住宅改修には助成制